

事 務 連 絡
平成30年11月26日

各都道府県教育委員会高校教育主管課
各指定都市教育委員会高校教育主管課
各都道府県私立学校事務担当課
附属高等学校（中等教育学校後期課程を含む） 御中
を置く各国公立大学法人附属学校事務担当課
構造改革特別区域法第12条第1項の認定を受けた
各地方公共団体株式会社立学校事務担当課

文部科学省初等中等教育局教育課程課
児童生徒課

労働法に関する高等学校等向けセミナーについて

平素より、労働法などの雇用と労働に関する教育の充実に御協力をいただき、感謝申し上げます。

学校教育における雇用と労働に関する教育については、学習指導要領に基づき、公民科等を中心に指導が行われているところですが、平成29年4月24日付けの事務連絡において、文部科学省の協力の下、厚生労働省において作成した高等学校等における労働法や制度（ワークルール）の指導のためのモデル授業案（生徒用のワークシート案等を含む）や留意点等を記載した教員用の資料「『はたらく』へのトビラ～ワークルール20のモデル授業案～」の周知をさせていただいたところです。

このことに関連して、厚生労働省より、別添事務連絡のとおり、高等学校等における本資料を活用した労働法等の指導の参考となる標記セミナーを開催する旨の連絡がありました。

つきましては、このことについて、各都道府県教育委員会高校教育主管課におかれては、域内の高等学校等を設置する市町村教育委員会及び所管の高等学校等に対して、各指定都市教育委員会高校教育主管課におかれては、所管の高等学校に対して、各都道府県私立学校事務担当課及び構造改革特別特区法第12条第1項の認定を受けた各地方公共団体株式会社立学校事務担当課におかれては、所轄の高等学校等及び学校法人等に対して、各国公立大学法人附属学校事務担当課におかれては、その管下の高等学校等に対して、御周知いただくようお願いします。

なお、当該セミナーに係る問合せについては、下記のとおり厚生労働省労働条件政策課労働条件確保改善対策室へお問い合わせください。

記

労働法教育等のための教員用冊子に係る問合せ先
厚生労働省労働基準局労働条件政策課労働条件確保改善対策室
電話 03-5253-1111（内線5545）

【本件担当】

文部科学省初等中等教育局教育課程課教育課程総括係
電話 03-5253-4111（内線2073）

事 務 連 絡
平成 30 年 11 月 19 日

文部科学省初等中等教育局教育課程課長 殿
初等中等教育局児童生徒課長 殿
初等中等教育局特別支援教育課長 殿
高等教育局学生・留学生課長 殿

厚生労働省労働基準局労働条件政策課長

労働法教育に関する高校教員等向けセミナーに係る協力依頼について

平素より労働基準行政の推進に御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

厚生労働省では、生徒が在学中の様々な機会に労働関係法令や制度に関する知識を習得することが重要と考え、貴省の御協力もいただき、高等学校の教員等が授業で活用できるモデル授業案として、『『はたらく』へのトビラ～ワークルール 20 のモデル授業案～』（※1）（以下「資料」）を作成したところです。

本年度も昨年度に引き続き、当該資料を活用した実際の授業の進め方等について、高等学校の教員等を対象としたセミナー「生徒に労働法の基礎知識を教えるためのノウハウセミナー」を、厚生労働省委託事業として別添リーフレットのとおりに、全国 10 箇所の会場（北海道、宮城県、埼玉県、東京都、愛知県、滋賀県、大阪府、広島県、香川県、福岡県）で開催することといたしました。本セミナーに関する情報は、厚生労働省「確かめよう労働条件ポータルサイト」（※2）でも随時更新してまいります。

つきましては、本取組に御理解を賜るとともに、各高等学校等の先生方に御出席いただけるよう、各教育委員会、各高等学校等及び各関係団体への周知について御協力をいただきたく、よろしくお願い申し上げます。

※1 『『はたらく』へのトビラ～ワークルール 20 のモデル授業案～』

<https://www.check-roudou.mhlw.go.jp/tobira/index.html>

※2 <https://www.check-roudou.mhlw.go.jp/> セミナー情報は随時更新していきます。

問い合わせ先：厚生労働省労働基準局労働条件政策課 労働条件確保改善対策室
TEL：03-5253-1111 下田（内線：5545）



- 高等学校の進路指導・就職担当教職員の皆さん向け
- 「公民科」や「家庭科」等の教科担当教職員の皆さん向け
- 高校生の労働法教育に関心のある「土業」の皆さん向け

無料

生徒に労働法の基礎知識を教えるためのノウハウセミナー



- 公民科において「労働問題」が扱われています！
- 個々の事情に応じた多様で柔軟な働き方を進める「働き方改革」が始まっています！

■ 生徒の率直な質問や相談にどう答えますか？

■ 生徒には、「働く」をめぐる基本的なルールや制度の適切な知識を身に付け、在学中に将来の職業や働くときの権利や義務など社会との関わりを考える様々な機会が大切です。

■ さあ、それではどの段階で、どんな機会を設け、どうやって進めますか？

セミナーは、30年11月から31年2月の間に

全国10ヶ所で開催

「『はたらく』へのトビラ」には、モデル授業案20例を集録しています。

- ニーズ ① 明日からでもすぐに使える授業の進め方を知りたい。
- ニーズ ② 働くことに関するルールや制度の必要性や背景までしっかり理解した上で、厚みがあって分かり易い授業にしたい。
- ニーズ ③ 働くことについてのルールや制度に関する独自の授業を開発するための材料を知りたい・集めたい。
- ニーズ ④ 学校・教員と土業などの外部人材が協働して授業する際に気を付けるべき点を知っておきたい。
- ニーズ ⑤ テキスト全体をよく理解した上で使いたい。詳しくは↓

<https://www.checkroudou.mhlw.go.jp/tobira/index.html>

受講者には、「『はたらく』へのトビラ」～ワークルール20のモデル授業案～(すぐに使える労働法教育の指導者用マニュアル)A4判多色刷り185頁)を差し上げます(無償)。



多彩な講師陣



本庄淳志(ホンゾ ユウジ) 静岡大学准教授。(一社)ワークルを2014年に設立、代表理事に就任。



荻宿俊文(カキト シュミ) 青山学院大学教授。ワークショップ、コミュニケーションの場作りの専門家。



内山巖(ウチヤマ イソ) 青山学院大学客員准教授。人材開発コンサルタントとしてワークショップ型の研修を提供。



鯉淵ヒロミ(コイヅミ ヒロミ) 社会保険労務士。(一社)ワークルの講師として、大学・高校での講師経験が豊富。



遠藤起予子(エドウキヨコ) 特定社会保険労務士。(一社)ワークルの講師として北海道を中心に活動。

セミナーの内容

■労働法教育の位置付け

■教材(「はたらく」へのトビラ)の使い方

■実践！ジグソー法

■実践！
相互コーチング

■外部人材とのコラボ

ーそのコツと留意点ー

■社労士から見た労働法教育

※セミナーは、これらの内容を組み合わせて行います。
※内容は、運営の都合で予告なく変更することがあります。

【お申し込みは
どちらか】



<http://www.zenkiren.com/iutaku/workrule/index.html>

※お申込みいただくと受講票を兼ねた自動返信メールが届きます。印刷のうえ、当日ご持参ください。

日時 (いずれも14:00~16:30)		会場	講師
宮城	11月26日(月)	仙都会館	内山 巖
滋賀	12月18日(火)	草津市立市民交流プラザ	荻宿俊文
大阪	1月7日(月)	たかつガーデン	本庄淳志
埼玉	1月15日(火)	JA共済埼玉ビル	
愛知	1月21日(月)	ウィンクあいち	
広島	1月29日(火)	広島商工会議所	
北海道	2月4日(月)	札幌駅前ビジネススペース	
東京	2月13日(水)	中野サンプラザ	
福岡	2月18日(月)	福岡県中小企業振興センター	
香川	2月19日(火)	レクザムホール(香川県県民ホール)	鯉淵ヒロミ